



ステージ
2 「はたらく」
働きがいにあふれ、みんなが選びたくなるまちへ！

U・Iターン支援や起業家育成支援など、誰もが挑戦できる、挑戦を応援するまちへ

- 移住建替支援事業 1,000万円
- ずっと住まいる応援事業 2,000万円
- おぢやごころ奨学金返還支援事業 1,220万円
- 干ばつ応急対策等事業 670万円
- 世界錦鯉サミット関連事業 1,050万円
- 起業家育成支援事業 2,499万円
- チャレンジショップ運営事業 171万円
ほか

○ 移住・定住の促進と若者の還流支援

- 移住者や子育て世帯による中古住宅の建て替え(解体・新築)費用の補助を開始し、定住を促進します。
- 家賃補助や奨学金返還支援を継続し、若年層の経済的負担の軽減と市内への定着を図ります。

○ 地域産業の振興

- GX戦略地域への挑戦など、新たな産業の育成や企業誘致などに取り組みます。
- 渇水対策を拡充し、異常気象への対応や農業者による安定的な生産体制確保を支援します。

○ 新たなビジネス創出への挑戦支援

- 起業家育成支援事業BALLOONによる伴走型支援やチャレンジショップ運営事業によって創業希望者の挑戦を後押しし、地域経済の新たな担い手を育成します。



ステージ
3 「くらす」
心豊かに、いきいきと暮らせるまちへ！

災害や豪雪への備えと医療の確保、福祉の充実で安心して暮らせるまちへ

○ 都市基盤の整備と公共交通の利便性向上

- JR小千谷駅周辺のバリアフリー化事業や片貝地区での商業施設立地促進などにより、利便性の高い都市構造への転換を図ります。
- AIオンデマンド交通「イコテ」の運行や免許返納を検討する高齢者などへの公共交通の利用支援により、市民生活の利便性を高めます。

○ 地域医療体制の確保

- 医療機関の新規開業支援や総合病院の運営支援を拡充し、地域医療体制の充実・確保を図ります。

○ 市民生活への緊急支援

- 水道料金の基本料金を7か月に渡って減免するなど、市民の経済的負担の軽減を図ります。

○ 災害や豪雪への備えによる安全安心な地域づくり

- 災害時の備えとしてトイレカーを整備し、災害対応力を強化します。
- 除雪車の新規導入や消雪パイプなどの融雪施設整備により、豪雪への備えを充実させます。

- 地域防災緊急整備事業 1,260万円
- 公共交通利用促進事業 123万円
- 厚生連病院経営安定化事業 7,000万円
- 診療所開設支援事業 5,000万円
- 助産師就業助成事業 200万円
- 物価高対策事業 2億1,170万円
- 流雪溝投雪口整備事業 144万円
- 都市機能立地促進事業 3,000万円
- 駅周辺基盤整備事業 1,600万円
ほか

ステージ
1 「こそだて」
安心してこどもを産み育てられるまちへ！

切れ目のない支援と経済的負担の軽減で、子育て応援ナンバー1のまちへ

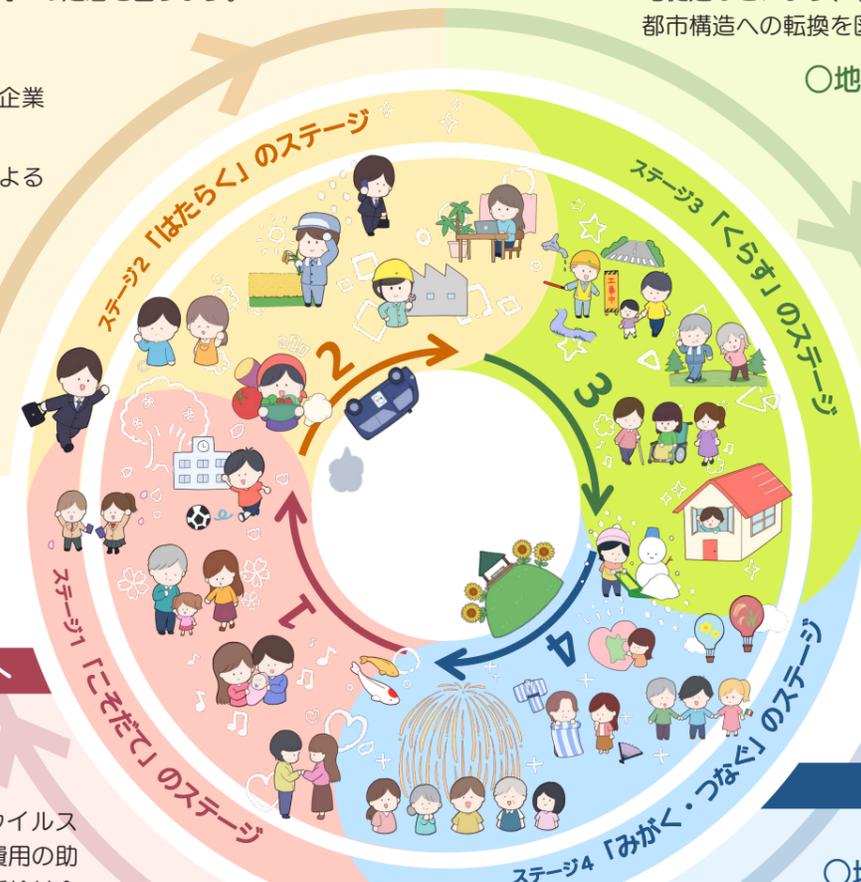
- 子ども医療費助成事業 1億1,954万円
- RSウィルスワクチン予防接種助成事業 578万円
- 妊産婦医療費助成事業 1,354万円
- 不妊不育治療費助成事業 600万円
- 妊婦のための支援給付事業 1,898万円
- こども若者家庭センター事業 761万円
- 放課後児童健全育成事業 8,910万円
- 学びの多様化学校運営事業 2,065万円
- 学校給食費負担軽減事業 4,129万円
ほか

○ 経済的負担の軽減

- こども医療費(高校卒業まで)や妊産婦医療費を助成し、こどもに係る医療費の完全無償化を継続します。
- 新たに小学校給食費の完全無償化実現や中学校給食費の助成拡充により、保護者負担を軽減します。
- 妊婦へのRSウィルスワクチン接種費用の助成開始や、支援給付金、不妊・不育治療費の助成継続により、妊娠・出産期の経済的負担軽減と健康維持を支援します。

○ 切れ目のない支援体制の強化

- 「こども若者家庭センター」を新設し、妊娠期から子育て期までの包括的な相談支援体制を構築します。
- 「学びの多様化学校」の運営を開始し、生徒の希望に沿った多様な教育機会を提供します。
- 放課後児童クラブの運営費補助を拡充して指導員の確保などによる質の向上を図ります。



ステージ
4 「みがく・つなぐ」
誇れる自然と文化、にぎわいあふれる交流のまちへ！

地域資源の魅力を磨き上げ、効果的に発信することで、誰もが誇りに思うまちへ

○ 地域資源のブランド化と戦略的発信

- 外部人材を活用した地域ブランディングや生産者と連携した農産物ブランド(錦の実り)の強化、山本山のさらなる魅力づくりなどにより、おぢやブランドの戦略的発信と高付加価値化を推進します。
- ふるさと納税に関する情報発信強化と返礼品拡充を図り、本市の認知度向上と寄附額の増加につなげます。

○ 交流拠点の活用と関係人口の創出

- スポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」のオープンにより、多世代間交流の促進と震災の経験・教訓の伝承を図ります。
- 効果的な情報発信と観光施設への誘導などにより、当市の地域資源の魅力が市内外の人々に伝わることで、シビックプライドの醸成を図ります。

